参考資料1

消費者被害・トラブル額の変化（2019年→2020年）

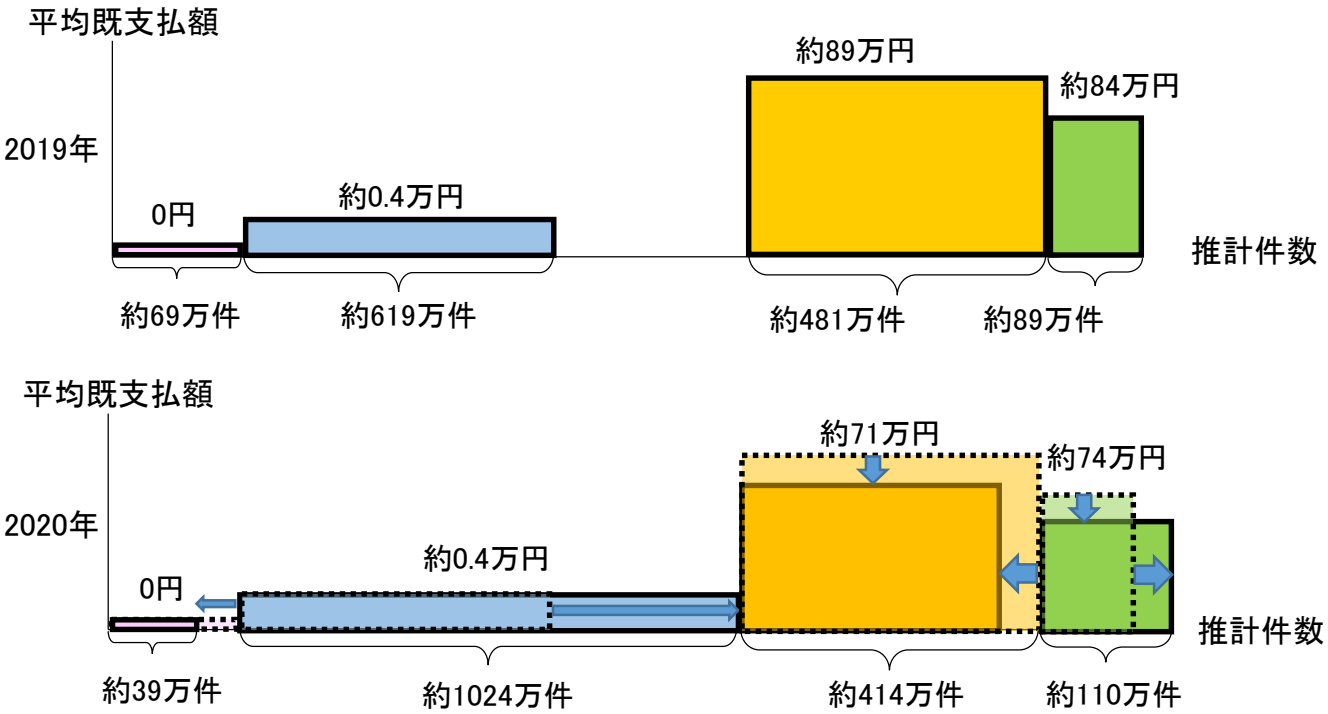
推計件数と平均既支払額の変化

本人が認識している
トラブルのうち
0円のもの

本人が認識している
トラブルのうち
少額なもの

本人が認識している
トラブルのうち
高額なもの

高齢者本人が
気付きにくい
トラブル



（備考） 1. 横軸は消費者被害・トラブルの推計件数、縦軸は消費者被害・トラブルの平均既支払額（信用供与を含む。）、面積は消費者被害・トラブル額を表す。
2. イメージ図であるため、各辺の長さと金額・件数は比例しない。

消費者被害・トラブル額の変化

	本人が認識している トラブルのうち 0円のもの	本人が認識している トラブルのうち 少額なもの	本人が認識している トラブルのうち 高額なもの	高齢者本人が 気付きにくい トラブル	合計
2019年	0円	約0.02兆円	約4.3兆円	約0.7兆円	約5.1兆円
2020年	0円	約0.04兆円	約2.9兆円	約0.8兆円	約3.8兆円

（備考） 1. 表内の金額は消費者被害・トラブル額の既支払額（信用供与を含む。）である。
2. 四捨五入のため、合計は必ずしも一致しない。